

(UNEP-ROAP 所長 Dechen Tsering より代読)

ご列席の皆様

「UNEP フォーラム 2021」につきまして、国連環境計画（UNEP）の事務局長である Inger Andersen からのお祝いの言葉をお伝えさせていただくことを光栄に思います。ここに国連環境計画からのメッセージをお伝えいたします。

本日は、鈴木基之代表理事、吉村皓一事務局長にお誘いいただき、このイベントが開催できることに感謝いたします。

私たち UNEP にとって、地球と人類が直面している 3 つの地球規模の危機、すなわち気候変動、自然の劣化、廃棄物および汚染の課題に対処するには、日本 UNEP 協会やその会員の方々などのパートナーシップが重要です。

パンデミック後のグリーンリカバリーは、経済をリセットし、消費と生産のパターンを改め、グリーンジョブ、再生可能エネルギー、持続可能な食品システム、グリーンインフラストラクチャーなどに投資する機会を提供します。

経済団体を含む民間部門は、これらの分野を主導するにあたり、重要な役割を果たしています。このような努力は、持続可能な開発を支援しながら、3 つの危機すべてを解決するのに役立ちます。

経済を刺激するためにとられる政策と投資の判断は、人間性、雇用、平等、そして私たちの経済を支える生態学的基盤に対する将来のリスクを軽減するか、増

幅するかという面で決定的になります。包括的でグリーンな経済回復には、誰も取り残さない行動が必要です。

特に化石燃料からの投資の撤退、再生可能エネルギーへの移行、2050年までのネット・ゼロ排出量の達成など、気候変動とその影響に対処する日本の取り組みには勇気づけられものがあります。

私たちは、日本 UNEP 協会の民間部門のメンバーが、政府と協力して脱炭素社会への移行を主導していただけると嬉しく思います。

私たちの行動は、持続可能な開発目標(SDGs)、パリ協定、2020年以降の生物多様性フレームワーク、同じく化学物質フレームワークに沿ったものとしましょう。これらは私たちが望む未来へとつながる道しるべです。

より回復力があり責任のある世界を「より良く構築」するために、お互いに助け合いましょう。

このフォーラムでご挨拶する機会をいただいたことに、あらためて感謝いたします。「ありがとうございます」。